

2025-26年度 第2650地区スローガン
「未来へつなぐ」

第2650地区〔1961.3.28創立〕

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第27回(通算3067回)2026年(令和8年)3月3日号

本日の例会(3月3日)

R Y L A 研修報告

村島硝子商事株式会社 保田麻央 様

次回の例会(3月10日)

「ちょっとだけAI」

(株)電通クリエイティブディレクター
池田定博 様

**2月17日の例会報告
会長の時間**

先週、例会終了後、高田地区情報集会に参加いたしました。その節はありがとうございました。情報集会では、まず会員増強が何よりも大きなテーマとなりますが、ロータリーの運営等、いろんな面でのご意見も頂戴いたしました。あと3つの地区で情報集会が残っておりますけれども、それぞれの地区において、運営等につきましても、何かご意見・感想等がございましたら、遠慮なくお申し出ください。

さて、梅の咲く季節となりましたが、奈良県では月ヶ瀬の梅が有名です。皆様方は烏梅(うばい)というものをご存じでしょうか。私も半年前までは知らなかったのですが、取り寄せてみますと、梅の実を燻して、その後、天日干しを何回かして出来上がる、漢方薬や染料として利用されてきたものです。日本に伝わったのは今から1300年前で、遣隋使の時代に奈良に薬として届いたのだそうです。これを月ヶ瀬で作るようになったのは、南北朝時代に後醍醐天皇が月ヶ瀬のほうにいらしたときのことです。そのとき女官が月ヶ瀬の村でこれを作ったらどうかと提案したことが始まりだそうです。

以来、明治時代の初めまで、月ヶ瀬の村では400軒の農家がこれを作っておられました。現在では1軒のみとなってしまいました。理由は化学染料が発達したためです。烏梅を混ぜますと、紅色の鮮やかな色どり、糸や生地が大変赤く染まったということですので。現在でも京都では使われております。2つ目の利用方法としては、江戸時代までは口紅としても利用されておりました。3つ目には、烏梅茶として薬膳の薬に使われておられます。疲労回復と殺菌効果があるということです。私も飲んでみましたが、大変効きそうな薬でした。味はご想像ください。煎じて

飲めば効くそうです。

数年前には三笠宮彬子女王もこの製法をご見学にいらっしゃったようです。このような貴重な文化というのは奈良にたくさんございます。これからもこうした文化が残ってほしいと思います。

幹事報告

◎理事会のご案内

2月17日(火)例会終了後

◎会費納入のお礼

すべて納入いただきました。皆様ありがとうございました。

◎休会のお知らせ

2月24日(火)休会

誕生日祝

西田陽昭会員(2月28日)村井善治会員(2月28日)

山田幸雄会員(2月28日)酒本良司会員(3月1日)

竹村恵史会員(3月2日)

結婚記念日祝

上田麻子会員(2月18日)堀川巳清会員(2月25日)

一ノ坪英二会員(2月25日)瀧本栄一会員(2月26日)

創業記念日祝

世古千代子会員(2月23日)田中康正会員(3月1日)

吉岡弘修会員(3月1日)吉岡寛人会員(3月2日)

委員会報告及びその他報告

◎趣味の会委員会 芸術・舞台・文化を楽しむ会

鶴山洋子世話人

本日より、新歌舞伎座でのお芝居の観劇希望を募ります。詳しくはチラシをご覧ください。これとは別の日時がご希望でしたら、その旨どうぞご記入ください。締め切りを3月10日(火)とさせていただきます。ご家族やお友達にもぜひお声がけいただきましたら、チケットを取りまとめさせていただきます。

◎親睦委員会

樫根正起副委員長

親睦家族会のご案内をお配りいたしました。出欠のご連絡をよろしくお願いたします。3月3日(火)に委員会を開催いたしますので、例会終了後お集まりください。

◎香芝地区情報集会

川村英亮世話人

2月17日(火)18時から辻甚にて香芝地区情報集会を開催いたしますので、ご参集の程お願いたします。

◎地区職業奉仕委員会 村島靖基地区副委員長

3月21日(土)、地区職業奉仕・社会奉仕委員会主催のロータリー奉仕フォーラムについてのチラシをお配りいたしました。吉岡会員がお話をされます。

4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

当日、入会3年未満の皆様は、吉川ロータリー情報委員長のお声がけの下、ご参加いただきます。その際、リーガロイヤルホテル地下の中華料理店で昼食会も予定しております。登録料・昼食代・電車をクラブから出していただきますので、どうぞご出席ください。

ニコニコ箱

・高田地区情報集會、ありがとうございました。堀川巳清會員、卓話楽しみにしています。山田 博會員
・堀川先生、卓話楽しみにしています。

安田志郎會員

・梅香る季節になりました。堀川先生、卓話よろしくお願ひします。高田地区情報集會でお世話になりました。

木原常裕會員

・高田地区情報集會欠席のお詫び。吉村元嗣會員
・本日下手な卓話をさせていただきます。

堀川巳清會員

・誕生日祝を頂いて。竹村恵史會員

・松倉圭吾様の入会を祝して。また、堀川先生の卓話、楽しみにしています。池田定嗣會員

・堀川先生の卓話楽しみにしています。

東辻英郎會員 中堀克己會員 船木克容會員

辻 修會員 村野淳二會員 山下精久會員

杉垣輝樹會員 吉川利幸會員 山本忠行會員

牧浦 徹會員 酒本將稔會員 白井健雄會員

桑 雅宣會員 垣本喜己會員 川村英亮會員

清水良彦會員 村島靖基會員

・堀川先生、卓話楽しみにしています。結婚記念日祝を頂いて。上田麻子會員

・堀川先生、よろしくお願ひします！ 吉田太郎會員

・誕生日祝を頂いて。

村井善治會員 酒本良司會員

・結婚日を思い出してうれしい！ 一ノ坪英二會員

・結婚記念日祝を頂いて。瀧本栄一會員

・結婚記念日の花、ありがとうございました。

川中光教會員

卓話 「趣味としての音楽について」

堀川巳清會員



堀川 巳清

健康管理委員会として医学の話をする事が多いのですが、コール輪音の活動もしておりますので、本日は音楽のお話をさせていただきます。ただし、私は専門家ではありませんし、知識も浅いところがあります点、お許してください。

健康管理委員会としては、病気をせずに、常識的な感覚を保持して、健康に長生きしていただくことを目標にしております。常識的な感覚というのは、仲間と仲良くするし、批判はするけれども憎しみは持たないということです。趣味を持つということは、脳神経及び身体の活動にも良く、喜びを伴います。認知症対策や鬱病対策にも良い効果があります。

趣味として積極的に勧奨しておりますことに、ウォーキングがあります。これはいろんな研究において体に良いことが報告されています。手足を動かすこと、目を動かすということは、脳を動かすことでもあります。そういった点でよい趣味と言えます。

そして、音楽も非常に勧奨しております。音楽の良さは楽しいということもありますし、口を動かすということが、呼吸や咀嚼といった生命活動にとって大切なところを鍛えられるからです。できれば、テレビで見たりCDで聞くよりも、コンサート会場に行くと良い効果が得られます。テレビは知識を得たりするには便利ですが、あまり長時間見るのは健康に良くありません。例えば山登りでも、テレビで山を見るよりも、実際に行ってみると大きな感動と効果が得られます。

逆にお勧めしない趣味としましては、ゲームなど依存性のあるものが挙げられます。音楽で言いますと、イヤホンで音楽を聞くのも難聴につながりますのでお勧めいたしません。

前回卓話をしたときも絶対音感のお話をいたしました。絶対音感とは6歳までにしか獲得できませんが、一方で絶対音感を持っている人は、音楽の成長に弊害があるという意見もあります。音は分かっても、メロディーラインの識別が困難なこともあるようです。そのあたりを乗り越えた方はすごい音楽家になります。

音にはドからドまでの間に12の音があります。「ドレミファソラシ」で7つの音ですが、いわゆる黒鍵が5つありますので、12個の音になります。これを見つけたのはピタゴラスです。紀元前2600年頃といえますから、お釈迦様の時代にはもうこれが分かっていたということになります。これをピタゴラス音律と呼びます。

ただ、ピタゴラス音律には不都合があります。理論的にはなっていますが、実際にはドからドに戻ってきません。ちょっとずつずれてしまいます。誤差を無視すると、ドからドを繰り返すたびにどんどん誤差が増えていきます。

ルネサンスの頃には、これではいけないということで、純正律というものが作られました。しかし、これも不都合は収まりませんでした。そこで、平均律が作られ、音同士の周波数を統一するようになりました。これによって、混声合唱もできるようになったし、オーケストラもできるようになりました。これを行ったのがバッハです。

バッハには平均律曲集というものがああります。あれだけたくさん曲を作ったすごい人だと思っていたけれども、実はバッハという人は平均律を提唱して、昔の音楽を皆、平均律で書いたというのが大きな実績となります。ですから、バッハの曲として有名なト長調メヌエットなども、バッハが作ったのではないとも言われています。それまでの曲を集めて楽譜を書いた、情報を残した人と言えるでしょう。このことは音楽が発展していく元になりました。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
2月17日	87	57	49	8	1	30	19	3	91.13%
2月10日	87	57	48	9	0	30	21	9	89.65%
2月3日	86	56	51	5	1	30	21	0	94.80%

※食品ロスの削減に努めましょう。(2月10日の弁当残数は6個)